

進路指導（2年）

目標	題材	ねらい	指導内容	備考
2年生としての自覚	4	二年生になって	自分の役割について考えさせる。 2年生になって（作文） ・目標を設定し、自主的な生活態度を確立させる。 ・学校内の中堅学年の自覚を促す。	作文 学年集会
	5	意欲的な学習態度	従来の学習生活を反省し、よりよい学習方法へ改善させる。 意欲的な学習態度を育てる。 ・1学年での学習状況や、平素の自分の学習状況等の見直しを通して、学習への意欲を高める。	学習方法の工夫、期末考査計画表
	6	人間関係を考える	相互理解、協力の大切さを考えさせる。 人間関係を大切に ・助け合い、協力し合い、良い学習関係を築きながら友情をはぐくませる。	
	7	働くことの意味	将来の生き方について考えさせる。 働くことの意味を考えさせる ・職場に関心を持たせ、いろいろな職業について学ばせる。	職場について
学習と労働の意義	9	職場体験	職場体験をする。 実際に労働を体験させ、自分自身の適正について考えさせる。 ・様々な「働き方」を学ばせ、職業観を深める。 ・職場体験を通して、人との接し方、世の中のルール、マナーなどを学ぶ。 ・自分の興味、関心のある職業について、実際にその職場を体験する。 ・体験を報告し合い、働くことの意味を考える	職場体験
	10	職場体験事後学習	職場体験を通して働くことの意味を考えさせる。 体験学習を通して、社会人としてのルールや、倫理、仕事の内容や社会における重要性を学習する。	
	11	自分自身について	将来、生き方について考えさせる。 自己理解を深める ・自分の長所、得意分野を知りどんな方向に向くかを考えさせる。	
	12	学ぶ目的	自分をどのように育て伸ばすか考えさせる。 学習することの意義 ・現在の学習が、将来どのように役に立つか考えさせる。 ・自分の夢のためにはどのような学習が必要か考えさせる。	上級学校
将来へ向けての進路	1	自己理解と他者理解	行事への取り組みを通して新たな人間関係を育てる。 行事の取り組みを通して、互いを理解し合う。 ・各自の長所を生かし、責任を果たしながら互いを尊重し合う。	
	2	中学校卒業後の将来について	二年間の成果や反省を生かし、今後の生活に意欲を持たせる。 二年間を振り返り、成長した点と今後の課題を見つけ、努力目標を設定する。	
	3	2学年の反省・まとめ	二年の学習、生活を振り返らせ、3学年に向けて自覚を高めさせる。 自分でつける自己評価一年間の学習・生活を振り返らせ、来年に向けて、自覚を高めさせる。	